

I 総会等に関する事項

1. 総会

開催年月日	開催場所	社員		議決権数	
		総数	出席者数	総議決権数	出席議決権数
H29.6.6	南区役所・ 分庁舎会議室	4	3	4	3

○報告事項

- 第1号報告事項 平成29年度事業計画書の件
- 第2号報告事項 平成29年度収支予算書の件
- 第3号報告事項 平成28年度会員状況

○議案

- 第1号議案 役員補選について
- 第2号議案 平成28年度事業経過報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認について
監査報告
- 第3号議案 平成29年度農地賃貸料について
- 第4号議案 農地利用集積円滑化事業規定の一部変更について

2. 理事会

開催年月日	出席理事数	会議内容
H29.5.22	10 (14)	下記参照
H30.2.20	11 (14)	

○H29.5.22<議案>

- 第1号議案 役員補選について
- 第2号議案 平成28年度事業経過報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認について
監査報告
- 第3号議案 平成29年度農地賃貸料について
- 第4号議案 農地利用集積円滑化事業規定の一部変更について

○H30.2.20<議案>

- 第1号議案 平成30年度事業計画(案)・収支予算書(案)について
- 第2号議案 平成30年度農地賃借料承認について

3. 監事による監査

開催年月日	出席監事数	会議内容
H29. 5. 17	2 (2)	平成28年度監査実施

4. 代表幹事会

開催年月日	会議内容
H29. 5. 18	定期社員総会に提出する議案等について
H30. 2. 13	理事会に提出する議案等について

II 事業報告

1. 総合振興対策事業

○事業概要

農業振興のための総合的な情報の収集や調査に努め、会員や農業者への情報提供を図るとともに、公社事業の検討を行った。

- (1) ホームページの更新と情報発信
ホームページの更新を1回実施し、財務状況や公社だよりなどを掲載した。
- (2) 農業振興公社だより等の発行による公社事業の周知
平成29年4月、No.20号発行
・平成29年度事業概要（計画・予算）と新規就農者支援の取り組み等を掲載。
- (3) 関係機関・団体との連携と情報共有

2. 農用地利用対策事業

農地利用集積円滑化事業の推進

○事業概要

農地中間管理事業を基本とした中で、農業経営の縮小や廃止を志向する農業者が所有する農地について、耕作放棄地や遊休農地とならないよう、情報の収集活動や農業者の相談活動の強化に努め、農業関係機関・団体と連携のもと、総合的な利用調整を図り、認定農業者を中心とする担い手へ農地を集積した。

- (1) 農地利用集積円滑化事業に係る相談の実施
- (2) 人・農地プランの支援（集落説明会実施）

- (3) 経営転換協力金等各種補助金の資料作成
- (4) 農地中間管理機構関係会議の参加
- (5) その他必要とされる事業の実施

農地利用集積円滑化事業実績

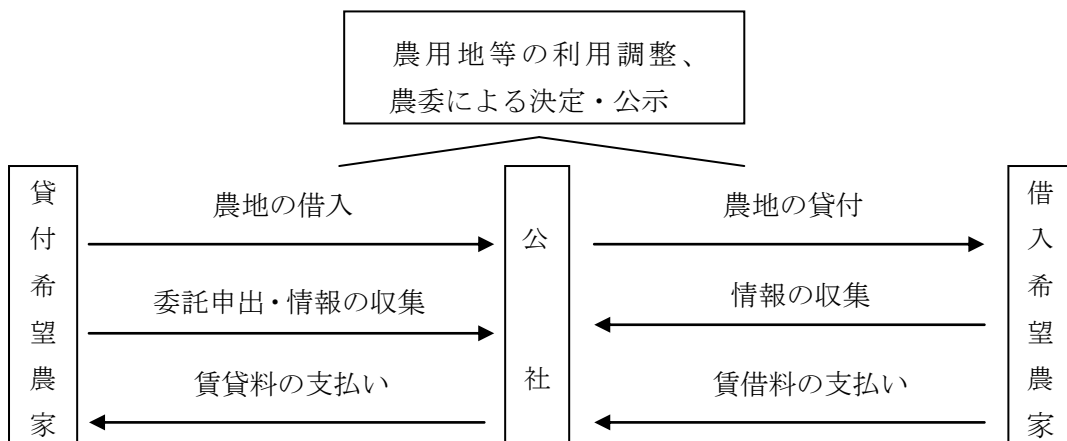
(単位：ha)

		H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9
面積	計画	2 0 0	2 0 0	1 9 0	1 8 0	1 7 0
	実績	2 1 3	2 7 0	3 0 6	3 2 5	3 3 7

※実績は平成30年3月公告現在

※数値は公社保有面積

<事業実施体制>



農地中間管理事業の推進

農地中間管理機構と受付業務を委託契約して、人・農地プランに沿って機構を通じた利用契約の拡大を図った。

平成29年度の農地中間管理機構への貸出契約成立面積（125ha）は前年対比68%にとどまった。その要因としては、地域集積協力金を活用した主な取り組みが一巡し、残る地区での合意形成が十分に進まなかったことが考えられる。

3. 農業振興対策事業

○事業概要

各種生産振興対策や生産団体への支援を行い、南区農業の一層の発展を図った。

(1) 技術推進対策

- ・主要果樹生育調査圃設置

(2) 防疫対策

- ・病虫害防除対策として予察圃場を借り上げ（新潟中央農業共済組合）

(3) 団体／協議会／部会助成

- ・しろね生産組織協議会
- ・越後中央農業生産組合協議会
- ・白根地域畜産振興協議会
- ・白根産農産物販売促進活動

<枝豆部会>

- ＊東京シティ青果(築地)、東一東京青果(大田市場)での販促及び情報交換【7/20～21】

<果樹部会>

- ＊東京シティ青果(築地)、東一東京青果(大田市場)での販促と情報交換【5/17～18】
- ＊市場視察(札幌青果)と情報交換【6/12～13】

<切花部会>

- ＊関東切花市場(大田花き及び都内花売店)視察研修【6/1～2】
- ＊市場打合せ(株)フラワーオークションジャパン【9/28】
- ＊関東市場「にいがたチューリップサンクスフェア」で販促【1/25～26】
- ＊香りチューリップ販売店舗視察(東京都周辺)【2/26～27】

<きのこ部会>

- ＊生産技術視察研修《群馬県/森産業(株)、(株)妙義産業》【2/27～28】

<かきのもと部会>

- ＊かきのもとリーフレット製作

<稲作部会>

- ＊華麗米カレー新パッケージ製作
- ＊特別栽培米(極選米)PR商品(リーフレット・のぼり・ポスター)製作
- ＊平成30年度美味しい米づくり生産大会(サルナート)【2/24】

4. 産地活性化総合対策事業

○事業概要

農家の高齢化や後継者不足により、産地生産量が年々減少しているため、総合的な対策を実施し、「農業王国」としての産地の維持・発展のため農作業支援事業を実施した。

(1) 農作業パート事業

- ・H29年度支払賃金実績 7,040千円
- ・農作業パートの募集、採用 21人採用
- ・農作業委託農家の募集実績 49戸
- ・農作業パートの果樹作業技術研修の実施及び農作業全般の請負

5. 資源循環事業（新潟市委託事業）

○事業概要

南区農業振興公社は、新潟市から資源循環事業の委託を受け、資源循環システムの実施機関として事業の展開を図った。

白根地区は豚糞堆肥145.3t、散布面積28ha、味方地区は牛糞堆肥量876.0t、散布面積87.6haの散布を実施。（合計堆肥量1,021.3t、合計散布面積115.6ha）

*堆肥散布業務を委託（白根地区/キープクリーン、味方地区/AOBA）

6. 農商工連携がっちりプロジェクト事業（新潟市委託事業）

○事業概要

農業・商業・工業が連携し下記の事業を行うことにより、農業の6次産業化を推進し、地域産業の活性化や雇用の創出を図る。

- ・農商工連携推進体制の整備
- ・地産地消推進のための研修会の実施
- ・地域農産物を活用した加工食品の検討、1次加工試作品の実施
- ・その他農商工連携推進及び6次産業化に必要な事業

（1）南区お土産アイデアコンテスト

南区の地域資源（農産物や伝統文化など）を活かした課題解決・地域活性化へつながる商品を募集し、活用に向けて支援することで南区の地域産業の活性化・新たな創業の促進を図ることを目的に実施。南区ならではの土産品のアイデアを2つのテーマと2つの部門で募集。

テーマ	「食品」と「モノ」	
部門	『商品化部門』と『アイデア部門』	
募集期間	平成29年7月20日（木）～10月20日（金）	
応募数	商品化部門	24件（食品／10、モノ／14）
	アイデア部門	54件（食品／31、モノ／23）
審査結果 【最優秀賞】	商品化部門	<食品> 新潟白根産フルーツのクラフティ（ヤハチ菓子店）
		<モノ> ルレクチエの保湿バーム（合同会社アレコレ）
	アイデア部門	<食品> 和梨づくし（新潟大学農学部応用生物化学科インターシップアグリパーク）
		<モノ> 白根大風合戦イヤフォン（桜沢 藍）

（2）若手農業者連携

カレーライス専用品種（華麗舞）の販路開拓及び地域の活性化つなげるとともに、南区産の米及び農作物の販売促進に繋げ、農業者の所得向上を図る。

① オリジナルカレーの開発

- ・オリジナルカレーのレシピ開発を『にいがた食育・保育専門学校専門学校えぷろ

ん』の学生に依頼

- ② 「月潟大道芸フェスティバル (9/24)」で、『にいがた食育・保育専門学校えぷろん』と連携し、華麗舞カレーを販売
- ③ 華麗舞の認知度向上のため、学校給食センターと連携し、南区内の全小中学校（小学校11校、中学校6校）の学校給食に「華麗舞カレー」提供。
 - ・平成30年1月22～25日『給食週間「南区カレーの日」』実施

(3) 6次産業化・未利用品のPR

6次産業化PR

- ・食の商談会「フードメッセ in にいがた2017【11/8～10】」へ出展し、華麗舞カレーセット、スパイスセットの試食、販売

未利用品PR

- ・未利用品を使った1次加工品を南区内の事業所等にサンプル提供
- ・給食週間『南区カレーの日』に提供した華麗舞カレーに「小松菜」と「かきのもと」の粉末を使用

7. 果樹剪定枝バイオマス利用実験事業（新潟市委託事業）

○事業概要

果樹剪定枝を木質バイオマス資源と捉え、化石燃料の代替燃料を目的として固形燃料化を行い、製品としての販売実現を目指して、回収拠点の設置の確保と製品の安全性を調査し、収集から加工販売までの効果的なシステムの構築を検証するとともに、果樹の病虫害の発生源となる剪定枝等の園地からの排除等について検討を行う。

(1) 堆肥化

- ・ 剪定枝（桃1, 230kg、梨970kg）落葉（西洋梨1, 090kg）の堆肥化実験を農業活性化研究センターで実施。

	考察経過
桃の剪定枝	①保水性が低く分解に時間を要する
	②乾燥しやすく、多くの散水が必要
	③最高温度 54.6℃
梨の剪定枝	①好気性発酵による分解が進むも時間を要する
	②最高温度 45.0℃
西洋梨の落葉	①実験開始当初から腐敗臭が徐々に減少し、好気性発酵が進む
	②密着した葉の塊部分の発酵が進まず、バラつきがある土になる
	③セイヨウナシ褐色斑点病の孢子飛散を確認
	④最高温度 50.0℃
検証結果	○収集した剪定枝の量では有機堆肥製造方法による発酵が進まない。 ○堆肥化までは長期的なスケジュールと事業予算が必要。 ○西洋梨の落葉は「セイヨウナシ褐色斑点病」の孢子が残り飛散が確認されたため、農業用資材としての活用が難しい。

(2) バイオマス発電

- 再生可能エネルギーとして「木質バイオマス発電」に取り組んでいる事業者「グリーン・サーマル株式会社」と剪定枝のバイオマス発電利用の可能性について協議を行うとともに、燃焼実験を行った。

	内容等
実験施設	グリーン・サーマル株式会社（三条市）
実験資材	桃の剪定枝4, 900kg（協力：しろね果樹部会）
収集運搬方法	・剪定枝を旧茨曾根選果場に持込む ・破砕処理のため、収集運搬委託業者が旧茨曾根選果場から回収 ・収集運搬委託業者による破砕及び選別作業終了後、グリーン・サーマル株式会社へ搬入
燃焼結果	・今回行った、剪定枝と他木材の混合配合による燃焼実験では「問題なし」と回答あり
課題	・コスト及び収集方法等について、関係機関との細部の調整が必要

(3) ペレット化

- 桃の剪定枝でペレット試作品を完成させ、新潟市内のペレットボイラー利用施設で燃焼実験を行う体制が整った。

製造業者	有限会社 新津清掃社
桃剪定枝の量	2, 670kg
ペレット数量	約800kg
成形状態	他製品と比べ柔らかめ

8. 公社管理業務

○事業概要

公益法人会計基準に基づいた適正な公社会計事務を行うとともに、公社の組織拡充のため、積極的な会員募集を行なった。

- (1) 会計および庶務管理
- (2) 施設・財産の管理
- (3) 公社業務の進行管理

計画策定と具体的目標の設定による進行管理

（農地利用集積田滑化事業、農地中間管理事業、産地活性化総合対策事業、資源循環事業、農商工連携事業、果樹剪定枝バイオマス利用実験事業、農作業等受委託、会員数）

- (4) 積極的な会員募集と会員と一体となった公社事業の推進
事業推進、公社だよりによる会員募集
- (5) その他必要とされる事業の実施

○会員数

(年度末現在)

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
正会員		4	4	4	4	4	
特別会員	計画	136	136	130	140	160	
	実績	110	151	150	159	161	
	農業団体	2	2	2	2	2	
	農業者	生産組織	17	18	18	19	19
		個人	91	131	130	138	140
	その他	0	0	0	0	0	
合計		114	155	154	163	165	